

「深い学び」に向かう児童の育成

～学びに向かう力を高める授業デザインを通して～

前橋市立桃井小学校

児童の実態

- ・課題に積極的に取り組み、自分なりの考えを表現することができる。
- ・児童同士の対話的な活動により、自分の考えをより明確にしたり、友達の意見を聞いて自分の考えを修正したりする姿が見られるようになった。

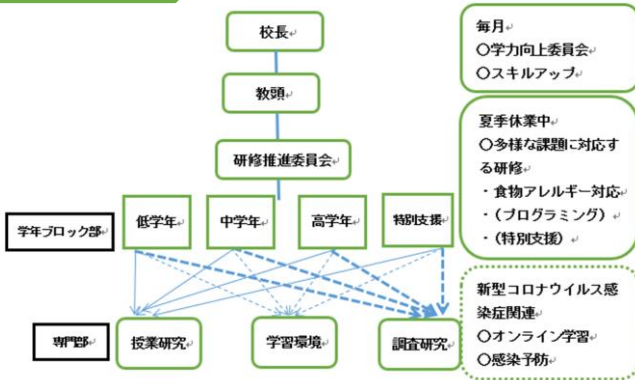
教師の願い

多様な考えにふれたり、自分の考えの変容に気付いたりしながら学習活動に主体的に取り組ませたい。

国や県市の動向

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善

研究組織



研究計画

	学年ブロック部	専門部
R2	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎研究 「深い学び」について学習指導要領による整理評価の観点の理解 ○授業づくり 授業デザインシートの作成 ○授業実践 校内提案授業及び授業研究会 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童実態調査①実施と考察 ・授業実践に係る教材の作成 ・学習環境整備及びもものいことば+の運営
R3	<ul style="list-style-type: none"> ○授業づくり 授業デザインシートの検討 ○授業実践 教科別研究発表会 要請訪問によるプレ授業 ○研究のまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童実態調査②実施と考察 ・指導案検討 ・学習環境整備及びもものいことば+の運営
	1学期	
	2学期	
	3学期	

研究内容

教師の授業デザイン

- ①主体的に学ばせる単元計画
 - ・言語活動の共有
 - ・期待する深い学びの姿
- ②対話的な活動の設定
 - ・対話的な場面や環境の構成
 - ・対話がつながる問いかけ
 - ・思考過程の視覚化
- ③学びの深まりを実感させる振り返り
 - ・何を学んだのか
 - ・どのように学んだのか
 - ・新たな疑問や更に学びたいこと

「深い学び」に向かう児童の姿

実践の概要① 授業デザインシート

抽出した学習単元において、学習過程毎に期待する深い学びの姿を児童のつづきや態度で表した。

授業デザインシート

5 学 年 単 元 名 「 た ず ね び と 」

「綾」の心情が変わったことを表す叙述に着目し、物語の全体像を捉えることができるように、グループで話し合う活動をする。

学習過程	期待する「深い学び」の姿	教師の問いかけや問い返し
つかむ 興味や関心をもつ	<p>なんで「たずねびと」って題名なのだろう。たずねびとって、誰だろう</p> <p>友達は、どんな感想や考えをもっているのだろう。</p>	<p>「たずねびと」ってなんだろう</p> <p>友達は、どんなことを感じたのかな。</p>
追究する 見通しをもって粘り強く取り組む	<p>自分の大事なことが伝えられたな。</p> <p>自分と似ているところや違うところを聞き取ろう。</p> <p>友だちの考えと、自分の考えを比べてみたい</p> <p>どんなきっかけでそう思うようになったのか尋ねてみたいな。</p> <p>友だちの意見を聞いてみたい。</p>	<p>友達の考えを否定したり、笑ったりせずによく聞いて、気になることは尋ねよう。</p> <p>前のグループで出た考えを次のグループに伝えよう。</p> <p>友だちの考えを聞いて、自分の考えの中で変わったことや深まったことも伝えよう。</p>
まとめる 自分の学びや成長を実感し次の学びに向かう	<p>「たずねびと」を読む前と後で、自分の気持ちを比べてみよう。</p> <p>「たずねびと」を読んで、友達の気持ちはどう変わったのだろう。</p>	<p>「綾」の心情の変化は、整理出来たけど、自分の気持ちは、どうなりましたか。</p> <p>友達は、どう変わったのかな。</p>

全6時間中の6時間目

<本時のねらい>

デジタル教科書の「マイ黒板」を用い、意見や感想を共有することを通して、自分の考えを広げたり深めたりする。

<対話的な活動の設定>

場面

デジタル教科書の「マイ黒板」を用い、自分の気持ちや考えを共有することを通して、自分の考えを広げたり深めたりし、単元の学習を振り返る。

形態

意図的3, 4人グループ → 深めるための自由共有

目的

物語を読んだ後の自分の気持ちや考えを共有することで、自分の気持ちや考えを広げ深めることができる。

実践の概要③ もものい ことば+ (プラス)

言語感覚を養うため、言葉に関する学習を積み上げる時間

1週目	知る 読む	味わう
2週目	言葉を集める 作る	創作する
3週目	発表する 聞き合う	楽しむ

俳句、回文など
テーマは月ごとに
変わります。

学級代表の1点が
掲示され、みんなの
やる気アップ!



俳句

よるこびと
連なるおどろき
おいもほり

さむいあさ
さかんし
しろいいき

回文

鉄火井今度買って

実践の概要② 授業実践及び授業研究会



1年「じどう車くらべ」



5年「たずねびと」



4年「プラタナスの木」



学習室6年「やまなし」

授業研究会

子どもの姿で語る

教師の学びの場としての授業研究会

実践の概要④ スキルアップタイム

教師がより良い言語感覚を養っていくためのスキルアップの時間

句会 もものい

月ごとのテーマに沿って俳句を詠みました。

愛読書やお薦め本を伝え合いました。

本と私

6月 テーマ 「給食」	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
給食で 笑顔がひかる 楽しい時間	汗かく子 扇風機に語る 献立表	暑き日の 牛乳当番 うらやむ目	梅雨晴れに 汗流す子と 紙牛乳	学び舎に 風薫る音に 箸の音	混乱す 汗かく子らに ミルクメイク	大嫌い 猛暑 雷 漬け物も	涼もとめ ゼリーほおぼる 黙食の子等	夏休み 給食の安さ かみしめる	静寂さ 五月雨よりも すする音	パンくわえ 家路を急ぐ 遠き夕暮れ	五月晴れ 無言給食 前を向く	五月晴れ 素顔がうれし 給食時	風薫る 鐘を待つ君 今日は何?	懐かしや 夏の給食 冷やし中華	いつになる アセロラゼリー 争奪戦	大人だけ 竹の子ご飯 心待ち	雨の下(もと) 震えて食べる 冷凍パイイン	雨あがり 屋敷に響く モーツアルト		

本と私 ～桃井 大人のライブラリー～

紹介した日	書籍名	著者
6月31日(月)	英語独習法	今井むつみ
6月14日(月)	論語と算盤(そろばん)	淡沢栄一
	だから日本は スズれている	古市憲寿
6月21日(月)	生物はなぜ死ぬのか	小林武彦
	はたらく細胞BLACK	原田重光/初嘉屋一生
7月6日(月)	「織姫さん」の本	武田 友紀
	会話がとぎれない! 話し方66のルール	野口 友伸
7月21日(水)	伸びる子供は〇がすごい	榎本 博明
	余計な一言	斎藤 孝
8月28日(木)	1ねん1くみせんせいあのね	灰谷健次郎・鹿島和夫
	人新世の「資本論」	斎藤孝平
10月4日(月)	本当の「心の強さ」ってなんだろう?	斎藤 孝
	ぬまっちのクラスが「世界一」の理由	沼田 昌弘
10月11日(月)	バッテリー	あさのあつこ
	人魚の眠る家	東野圭吾
10月18日(月)	にげてがさして・夢をかなえるソウ	ヨシタケシンスケ・水野敬世
	ロマンとソロバン	宮本喜一
10月25日(月)	あるがままに自閉症です	東田直樹
	PHP	

児童の変容

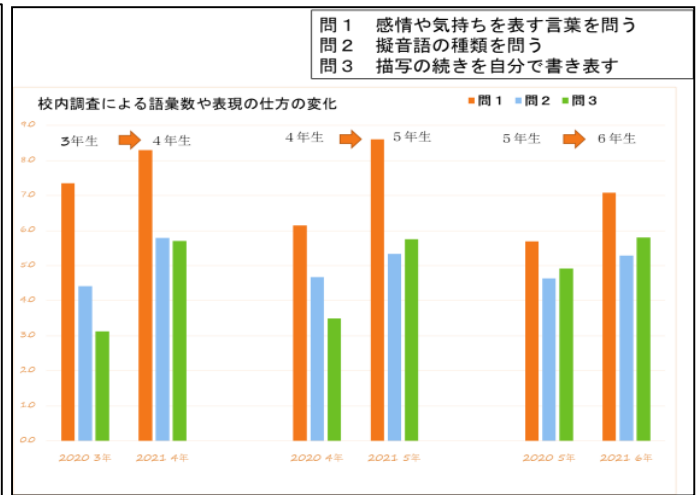
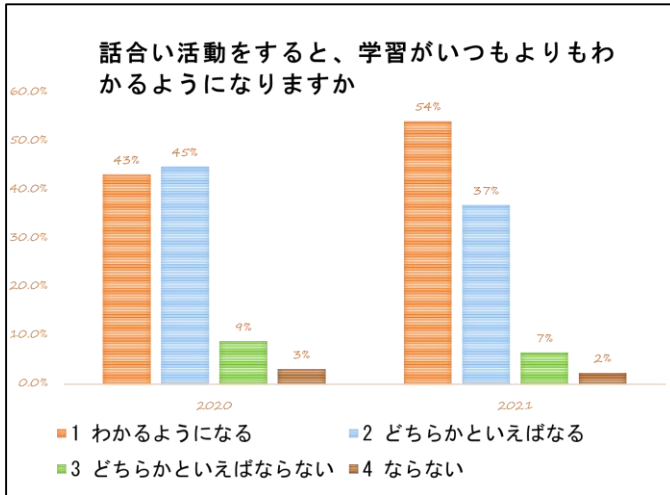
【児童の発言や振り返りシートから抜粋】

いろいろな意見があるのだなあと思いました。



広島（教材文の舞台となった街）に行って、もっと違うことも知りたいなあと思いました。

【校内調査から抜粋】



研究の成果

- ・教師が授業デザインを考え、深い学びの姿を予め捉えることで、授業改善を図ることができた。学習計画や言語活動を教師と児童が共有することで、児童は見通しをもって取り組めるようになった。
- ・学習活動が「楽しい」と肯定的な回答をした児童の割合が増加した。特に「対話的な活動」や「自分の考えを言うこと」についての関心・意欲は高まり、主体的に学習に向かっていることが分かった。
- ・単元を見通す振り返りシートを書くことで、児童は自分の学びを実感するとともに、他者の考えと融合させながら深い学びに向かうことができた。
- ・言葉について考える学習を重ねることで、児童も教師も言葉がもつよさを認識するようになった。

今後の課題

- ・児童がタブレット端末を適切かつ効果的に活用できるための環境作りや学習ツールとしての可能性を最大限生かせるための研修を行っていききたい。
- ・授業研究会は、今後も従前の形にこだわらず、児童の変容からよさや課題を熟議する教師の学びの場としていききたい。